

# ドリル No.JAP110 取扱説明書



## 安全上のご注意

この取扱説明書には以下のマークをつけています。

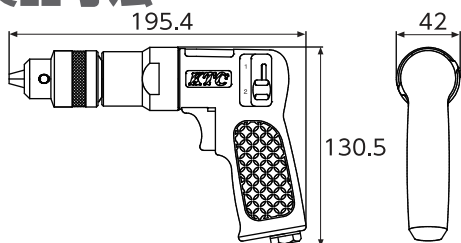
⚠ 拡大損害が予想される事項	❗ 必ず行う
🚫 禁止行為	🚫 分解禁止

使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、  
正しく使用してください。

⚠ 警告 死亡や重傷の原因となる。		
絵表示	重要事項	危害・損害
🚫	●ガソリン、ガス等の引火性の高い危険物の近くで作業しない。	爆発、発火により死亡や重傷を負う原因となる。
🚫	●回転している先端部に触らない。	重傷となるケガの原因となる。
🚫	●暗い場所で作業を行わない。	重傷となるケガの原因となる。
🚫	●本体を持って移動するときは、トリガーに指をかけない。	本体が誤作動し、重傷となるケガの原因となる。
🚫	●ドリルビット等の先端工具を装着した状態で空転させない。	先端工具が飛び、重症となるケガの原因となる。
🚫	●穴をあける対象以外の器物にドリルを使用しない。	ドリルビットの先端が飛び、重傷となるケガの原因となる。
❗	●作業対象物を必ず固定する。	重傷となるケガの原因となる。
❗	●ドリルビットの交換は必ずエアホースを外してから行う。	ドリルビットが回転し、重傷となるケガの原因となる。
❗	●ドリルビットはしっかりと固定する。	ドリルビットが飛び、重傷となるケガの原因となる。
❗	●小さい子供がふれないところに保管する。	重傷となるケガや本体の破損、器物破損の原因となる。

⚠ 注意 ケガや器物損傷の原因となる。		
絵表示	重要事項	危害・損害
🚫	●工具本来の使用用途以外には使用しない。	ケガや器物破損の原因となる。
🚫	●分解・改造しない。	ケガや器物破損の原因となる。
🚫	●投げ、落とすなど衝撃を与えない。	本体の破損や器物破損の原因となる。
❗	●本体が熱くなったり、異常を感じたら使用を中止する。	ケガや本体の破損、器物破損の原因となる。
🚫	●ハンマー等で叩いて衝撃を加えない。	ケガや本体の破損、器物破損の原因となる。
🚫	●圧縮空気以外の動力源を使用しない。	ケガや本体の破損、器物破損の原因となる。
❗	●推奨エア圧に近い圧縮空気を使用する。	ケガや本体の破損、器物損傷の原因となる。
🚫	●製品を濡らさない。	本体の破損の原因となる。
🚫	●割れ、欠け、摩擦、変形等の異常がみられるドリルビットは使用しない。	ケガや器物破損の原因となる。
🚫	●振動や騒音が出るので、長時間の連続作業はしない。	本体の破損や器物破損の原因となる。
❗	●使用時は保護メガネ、耳栓、安全帽、防塵マスク、安全靴を着用する。	ケガの原因となる。
❗	●定期的に保守点検を行い、異常が認められる場合は使用を中止する。	ケガや本体の破損、器物破損の原因となる。
❗	●作業に適した服装で作業する。	ケガの原因となる。
❗	●修理は、必ず購入した販売店に依頼する。	ケガや本体の破損の原因となる。
🚫	●使用時は近くに人を近づけない。	ケガや本体の破損の原因となる。

## 製品寸法




### <梱包内容>

- ・本体
- ・チャックハンドル
- ・エアカプラ
- ・エアツール用オイル
- ・取扱説明書（本体）


## 諸元

	No.JAP110
ドリルチャック	3爪方式
穴開け能力	10mm
無負荷回転数	2000rpm
最適使用空気圧	0.62MPa (動圧)
無負荷空気使用量	0.44m <sup>3</sup> /min
エアインレット	NPT1/4"
使用エアホース内径	8mm以上
重量	0.8Kg (チャック含む)


# 使用方法

 <b>注意</b> ケガや器物損傷の原因となる。					
絵表示	重要事項	危害・損害	絵表示	重要事項	危害・損害
	●作業対象物を確実に保持する。	ケガや器物破損の原因となる。		●専用の先端工具を使用する。	ケガや器物破損の原因となる。
	●ドリルビットの交換は必ずエアカプラを取り外してから行う。	ケガや器物破損の原因となる。		●エアカプラを確実に取り付ける。	ケガや器物破損の原因となる。
	●清掃で乾燥した圧縮空気を使用する。	本体の破損の原因となる。		●ドリルビットがしっかり装着されているか確認する。	ケガや器物破損の原因となる。

## ●使い方

 連続して1分以上稼働させない。異常劣化する恐れがある。

- ①ドリルチャックの回転部を反時計回りに回し、ツメを開く。
- ②使用するドリルビットをドリルチャックに差し込む。回転部を時計回りに回し、ツメを閉じる。
- ③チャックハンドルをドリルチャックの穴に差し込み、時計回りに回してドリルビットがしっかり固定するように締め込む。


 ドリルチャックは必ず均等に3か所で締め込む。

④エアカプラをエアインレット部に取り付ける。






 推奨エア圧：0.6～0.7MPa（6～7kgf/cm<sup>2</sup>）

⑤エアーレギュレーターレバーでドリルビットの回転調整を行う。  
1：強 / 2：弱 1-2間は無段階で調整可能。

⑥トリガーを引き、ドリルビットが回転することを確認する。  
トリガーを離し、ドリルビットの回転が止まることを確認する。  
なお、トリガーの引き具合を変更することで、ドリルビットの回転数を調整できる。

 ●使用後はエアホースを外し、エアインレット部よりオイルを数滴注油する。  
●エアインレット部からホコリやゴミが入らないように保管する。

## ●お使いになるエア（圧縮空気）について

	劣化したエアホースは使用しない。
	エア配管にはフィルター、レギュレーター、オイルを装備する。
	コンプレッサの配管は定期的に清掃し、ドレンや水分を除去する。
	エア機器全体で使用することができる十分な能力のコンプレッサ、配管及びホースを使用する。
	付属のエアカプラを使用する。

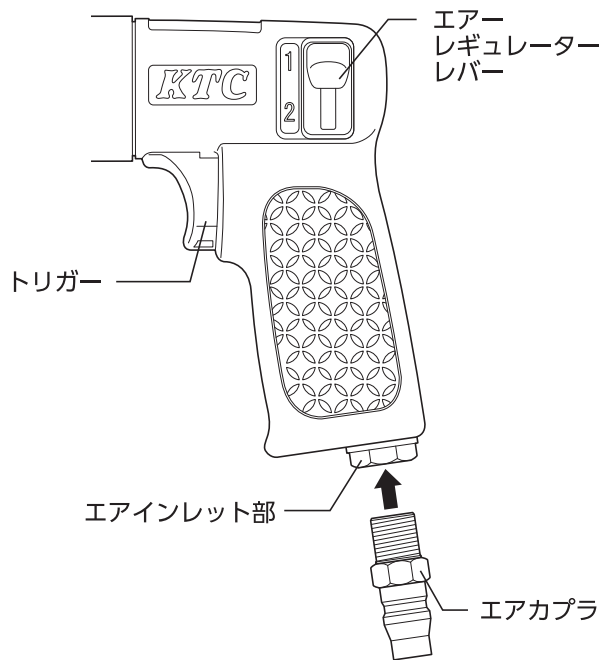
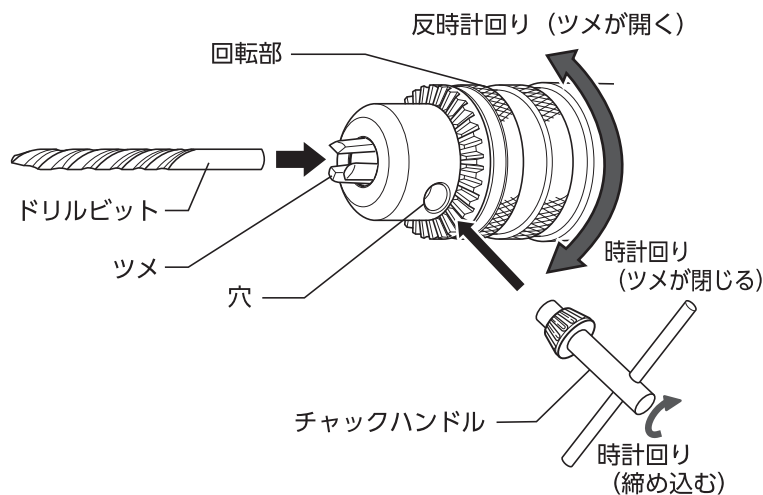
## ●トラブルシューティング

○動かない・・・

- ・エアツールのスイッチは正常ですか。
- ・エアホースは接続されていますか。
- ・エアが来ていますか。
- ・コンプレッサは正常に稼働していますか。

○本来の力が得られない・・・

- ・エア圧は適正ですか。高すぎても低すぎても×。
- ・エアホースの内径は適正ですか。
- ・コンプレッサの能力は十分ですか。
- ・レギュレーターは適正に調整されていますか。



販売者の名称・所在地： 京都機械工具株式会社

〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山新開地 128 番地

本製品のお問い合わせはお客様窓口までお寄せください。

製品情報 <http://ktc.jp/>

お客様窓口

☎ (0774)46-4159

FAX (0774)46-4359

E-mail：support@kyototool.co.jp

電話受付時間：9:00～12:00/13:00～17:00

(土・日・祝祭日及び弊社休業日除く)

製造国：日本

※仕様及び外観は改良の為予告なく変更することがあります。